

【ごみ処理量の見直し(令和4年度以降の考え方について)】

単位:t

施設名	令和2・3年度		令和4年度 処理基本計画 I	平均調整後 /計画対比 H/I	令和4年度以降の処理量見直しに係る考え方	
	調整前平均 G=(A+D)/2	調整後平均 H=(B+E)/2				
リサイクルセンター	2,295	2,324	2,307	101%	R2～3年度調整後平均と計画に差(5%以下)がないことから計画の数字を使用	
生ごみ・ し尿処理場	生ごみ(家庭系一般廃棄物)	2,118	2,181	2,271	96%	R2～3年度調整後平均と計画に差(5%以下)がないことから計画の数字を使用
	生ごみ(事業系一般廃棄物)	1,281	1,314	1,582	83%	R2～3年度調整後平均の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出(R2.2～コロナで店舗営業に影響あり)
	小計	3,399	3,495	3,853	91%	
焼却施設	可燃	7,917	7,971	8,102	98%	R2～3年度調整後平均と計画に差(5%以下)がないことから計画の数字を使用
	生ごみ	43	0	0	-	
	粗大	110	163	198	82%	R2～3年度調整後平均の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出
	資源物	21	0	0	-	
	家庭系一般廃棄物(合計)	8,090	8,134	8,300	98%	
	可燃	1,208	1,214	2,076	58%	R2⇒R3オムツ(産廃⇒事業系一廃)の影響あるため、R3実績の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出
	生ごみ	22	0	0	-	
	し尿し渣	10	10	15	67%	計画(H27～R1平均で固定)⇒R2～3年度調整後平均で固定
	下水残渣	78	78	94	83%	計画(H27～R1平均で固定)⇒R2～3年度調整後平均で固定
	生ごみ残渣	517	517	572	90%	R2～R3年度調整前平均(実際の施設処理量)から生ごみ残渣率15.20%を活用して算出
	資源残渣(可燃)	20	20	22	91%	R2～R3年度調整前平均(実際の施設処理量)から資源(可燃)残渣率0.85%を活用して算出
	ボランティア袋(可燃)	144	144	146	99%	計画(R1～R2平均で固定)⇒R2～3年度調整後平均で固定
	乾燥汚泥	659	659	1,246	53%	搬入量を700tで協議済みのため、R4年度以降700t固定
	事業系一般廃棄物(合計)	2,658	2,641	4,170	63%	
	一般廃棄物(合計)	10,748	10,775	12,470	86%	
	可燃	2,020	2,020	1,690	120%	計画(R1～R2見込平均-オムツ量見込でR3以降固定)⇒R3年度実績で固定(R2実績はオムツが含まれる)
	不法投棄	0	0	0	-	
	産業廃棄物(合計)	2,020	2,020	1,690	120%	
	焼却施設 合計	12,768	12,795	14,160	90%	
ごみ処理場	可燃	55	0	0	-	
	生ごみ	20	0	0	-	
	不燃	836	836	902	93%	R2～3年度調整後平均の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出
	粗大	212	159	149	107%	R2～3年度調整後平均の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出
	資源物	9	0	0	-	
	鉄搬出	-105	0	-106	0%	処分手数料を徴収しているため0tとする
	家庭系一般廃棄物(合計)	1,027	996	945	105%	
	可燃	6	0	0	-	
	生ごみ	11	0	0	-	
	不燃	178	123	206	60%	R2～3年度調整後平均の1人当たり1日ごみ排出量(処理量÷人口÷年間日数)から人口推計・年間日数を乗じて算出
	し渣	9	9	10	94%	計画(H27～R1平均で固定)⇒R2～3年度調整後平均で固定
	生ごみ残渣	0	0	0	-	
	資源残渣	164	164	144	114%	R2～R3年度調整前平均(実際の施設処理量)から資源(不燃)残渣率7.13%を活用して算出
	粗大残渣	6	6	5	118%	R2～R3年度調整前平均(実際の施設処理量)から粗大(可燃)残渣率5.91%を活用して算出
	市焼却灰(一廃)	1,558	1,558	1,740	90%	R2～R3年度調整前平均(実際の焼却施設処理量)の残渣率16.48%の内、84%を配分
	ボランティア袋(可燃)	0	0	0	-	
	ボランティア袋(不燃)	20	20	24	84%	計画(R1～R2平均で固定)⇒R2～3年度調整後平均で固定
	不法投棄	0	0	0	-	
	事業系一般廃棄物(合計)	1,951	1,880	2,129	88%	
	一般廃棄物(合計)	2,978	2,876	3,074	94%	
	可燃	0	0	0	-	
不燃	1,305	1,305	1,285	102%	計画(R1～R2見込平均でR4以降固定)⇒R3年度実績で固定(最近の経済動向を鑑み平均としない)	
市焼却灰(産廃)	547	547	611	89%	R2～R3年度調整前平均(実際の焼却施設処理量)の残渣率16.48%の内、16%を配分。	
不法投棄	4	4	0	-		
産業廃棄物(合計)	1,855	1,855	1,896	98%		
ごみ処理場 合計	4,833	4,731	4,970	95%		
ごみ処理量	家庭系一般廃棄物	13,530	13,635	13,823	99%	
	事業系廃棄物	9,766	9,711	11,467	85%	
	事業系一般廃棄物	5,890	5,836	7,881	74%	
	産業廃棄物	3,875	3,875	3,586	108%	
	総合計	23,296	23,346	25,290	92%	